

成田祇園祭

祭り囃子に酔いしれた三日間

合併記念事業



大本堂前の総踊り

成田の夏の一大行事、成田祇園祭が7月7日～9日の三日間、成田山新勝寺や表参道を中心に開催されました。7日の新勝寺大本堂前総踊りから始まり、8日の駅前総踊り、最終日の総引き・総踊りなど、豊富な見せ場を求めて集まった大勢の観客を迎え、成田の町は祭り一色に。ことは合併記念行事として、3町の山車が市役所を訪問し記念セレモニーが行われるなど、例年にも増して盛り上がる祭となりました。



仲町の坂を駆け上がる（ことしの当番町・東町の屋台）



市役所前に集合した仲町・本町・花崎町の山車

成田市国民保護協議会

成田市国民保護計画策定に向けて

国民保護法では、武力攻撃から国民の生命、身体、財産を保護し、国民生活などに及ぼす影響を最小にするための、国・地方公共団体などの責務、避難・救援・武力攻撃災害への対処などの措置が規定されています。市では、国民保護法に基づいて成田市国民保護計画を作成するため、6月29日、第1回の成田市国民保護協議会を市役所で開催し、計画作成の進め方などについて審議しました。今後、計画案を作成し、協議会への諮問、パブリックコメント、千葉県知事への協議を経て、平成18年度中に計画を作成する予定です。



成田市国民保護協議会は電力・通信などのライフライン事業者をはじめ、各公共機関等関係者により構成されます

トピックスなりた



そろいのはっぴで祇園祭に参加 (7月7日)

サンプルーノ市中学生友好訪問団

姉妹都市から 中学生10人が来成

7月1日から9日にかけて、米国・サンプルーノ市の中学生10人が成田市を訪れました。滞在中は、中学生家庭でのホームステイを通して日本の生活様式を体験。また、中学校への訪問や、成田祇園祭への参加など、市内の各地で交流を深めました。



ことし3月にサンプルーノを訪れた中学生と再会 (7月2日、吾妻中で)

北羽鳥のオタチ

5mの御神木を担ぎ 練り歩く

威勢のいい掛け声と歌を歌いながら、5mの刀の形をした御神木を担ぎ、各家を練り歩き災難除け・悪霊払いを願うオタチ(御太刀)が、7月11日、北羽鳥北部の小・中学生の男子20人で行われました。翌日の八坂神社の祇園祭で天王様(神輿)の露払いの意味をもつ行事として、江戸時代末期に同神社に奉納されたといわれています。子どもの減少で随分と少なくなったオタチ担ぎですが、元気な子どもたちの声や太鼓の音が響きわたる夏の風物詩です。



北羽鳥の田園地帯を練り歩く



幣束を持った子どもがお払いを

合併記念事業



表面には新「成田市市章」が

合併を記念して、市内の郵便局でエコーはがきの販売が行われています。通常50円のはがきが、45円で購入できます。この機会にぜひご購入ください。

7月から市内の郵便局で 販売中

エコーはがきの販売

印旛郡市各市町村の代表20チームによる「印旛支部消防操法大会」が、7月2日、本埜村で開催され、市代表の三里塚チームがポンプ車の部で準優勝、八代チームが小型ポンプの部で3位入賞を果たしました。

第26回千葉消防協会印旛支部消防操法大会 ポンプ車の部で 三里塚が準優勝



準優勝の三里塚チーム